

2016(H28).01.11

## 新人戦の第1戦(2回戦)は72-0で土浦工高に勝利！！

※黄色いジャージが合同Aチーム。うち黒いストッキングが日立一高、青いストッキングが磯原郷英高





1月11日(月・祝)ト伝の郷運動公園において、平成27年度新人戦の第1戦(2回戦)が行われ、日立一高と磯原郷英高の合同Aチームは、前半31-0、後半41-0、計72-0で土浦工高を破り、準々決勝進出を決めました。

先発メンバーは、日立一高が8人(背番号順に、4村上、5大高、6藤沢、8篠田、10志賀、11田口、12北野、15小川)&磯原が7人。…後半の残り10分で磯原のWTB同士が交代したほか、残り5分で右プロップの萩谷が8か月ぶりに公式戦に復帰しました。

10:30、曇り空で微風、やや肌寒い中を土浦工高のキックオフで試合開始。

開始2分、敵ボールスクラムをプッシュし、こぼれ球のラックで得たペナルティから展開、縦につないでラックを連取し、最後はNo.8篠田がインゴールに持込みトライ。ゴール不成功ながら5-0と幸先の良いスタートを切りました。

初戦・しかも合同チームとあって、なかなかボールが手につかず、その後はやや攻めあぐねましたが、9分またも敵陣スクラムのこぼれ球からラックとなり、出したボールをSO→HOにリターンを返し、インゴールに走り込んでトライ。ゴール成功して12-0とリードを広げます。

その後もはレフリーとのコミュニケーション不足もあってか、ラックでのハンドやノットロールアウェイなど不用意な反則が多く、自陣に攻め込まれる場面もありリズムを掴めません。20分、26分(篠田)、29分(田口)とトライを重ねますが、やや単発の印象。31-0となったところでハーフタイム。

ハーフタイムには監督・コーチからラック周辺での意識の持ち方、TBライン間のコミュニケーション、ラインアイトディフェンス等に関して指導を受けて後半開始

2分、8分に敵陣ゴール前ペナルティからFW(藤沢・大高)が飛び込み、後半も主導権を握ります。ラックでの反則が減ったこともあり、敵陣での攻防が続きますが、実戦経験の少なさからかプレーに今ひとつ余裕がなく、圧倒するには至

りません。ラックで無理をしなくなった分、反則は減りましたがターンオーバーはなく、タックルも微妙に芯に入れていません。

しかし、個々人のスピードや突破力では格の違いを見せつけ、田口、志賀、篠田がトライを重ね、後半25分にはラインアウトモールを20m以上押し込んでトライを奪うなど、徐々にチームとしても機能し始めました。

後半7本目のトライをFWが奪って72-0となったところでノーサイド。新チームの記念すべき公式戦第1戦を勝利で飾りました。

試合を振り返れば課題もありますが、合同チームゆえの準備不足やコミュニケーション不足など、やむを得ない部分も多々あります。1年生が多い分、伸びしろが多いことにも期待しつつ、1戦1戦を学びの場として欲しいと思います。

次の試合は、1月17日(日) **14:00**(※試合時間が変更)から、会場は同じくト伝の郷運動公園で、茗溪学園に挑戦します。

本日も、寒い中を遠路遥々、多くの父母やOB・関係者の皆様が駆けつけてくれました。心から御礼申し上げますとともに、次の試合もぜひご声援くださるようお願いいたします。